

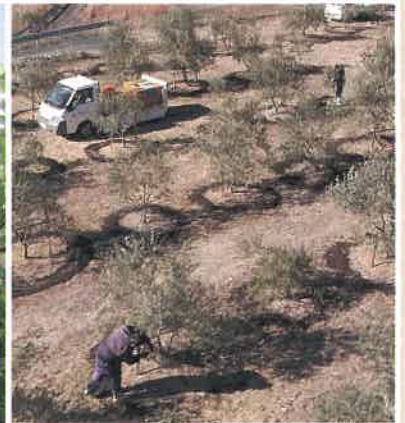
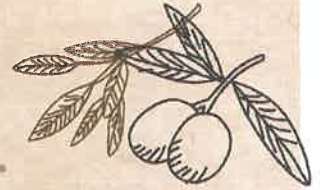
発行所 香川県小豆農業改良普及センター

〒761-4301 小豆郡小豆島町池田2519-2
TEL:0879-75-0145 FAX:0879-75-2477
E-mail shozunokai@pref.kagawa.lg.jp



オリーブを余すところなく再利用する 循環型農業の実践

株式会社 アグリオリーブ小豆島



(株)アグリオリーブ小豆島は、代表取締役の秋長正幸さんがそれまでオリーブの栽培だけにとどまっていた経営を、オリーブの生産から加工・販売までを手掛けることを目的に、平成22年に設立した農業法人です。同社では採油後残渣や剪定枝の再利用を行う循環型農業にも早くから取り組んでいます。

取組みの一つである「オリーブ堆肥」は、オリーブオイル採油後残渣から出る果汁水とオリーブの剪定枝を利用した堆肥で、自社のほ場へ還元することにより土づくりや化学肥料の使用を低減しています。また、島内のオリーブ加工業者から引き取った採油後残渣を脱水・乾燥させて「オリーブ飼料」を作っており、県のブランド牛「オリーブ牛」の生産を支えています。同社はこれらの取組みを強化して経営力向上を図るため、昨年10月に、小豆地域では初めてとなる環境負荷低減事業活動実施計画を認定する、いわゆる「みどり認定」を取得しました。

また、経営の多角化と自社商品の差別化・高付加価値化を図るため、今年度から始まった「さめき讚レモン推奨制度」へ生産者登録し、自社農園で栽培したレモンを利用したフレーバーオリーブオイルの生産や果実出荷にも取り組んでいます。

オリーブは、小豆島の産業・観光の中心であり、オリーブ産業をけん引する企業として今後のますますのご活躍を期待しています。





鳥獣害対策のポイント (侵入防止柵の設置)

1. 電気柵

- ・電気柵は、野生獣が電線に触れると、足先から地面を通じてアースに電気が流れ、野生獣に電気ショックを与える仕組みで(図1)、野生獣の**鼻先(サルでは手の平)に与えないと効果は低い**とされています。
- ・イノシシでは、**20cm間隔で2~3段が目安**。くぼんだ場所でも、地面と最下段の電線は20cm以下になるよう、**支柱と電線を追加**します(図2)。

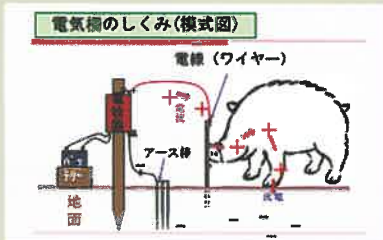


図1 電気柵のしくみ

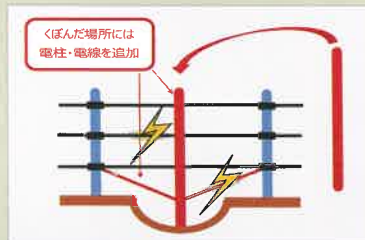


図2 電気柵の配線図



写真1 鼻先で電線を確かめようとするイノシシ



写真2 電気柵を突破

●電気柵が効かない!? (小豆管内の事例から)

ときおり、電線を全く無視して電気柵を突破するイノシシがいます。通電していなかったのでしょうか? いいえ。電圧は正常でした。

これは、“電源が入っていない状態が続いていた、または非常に電圧が弱かった”時があると、電線が鼻に触れても電気ショックがかからなかったという経験を積み重ねたイノシシが電線を警戒しなくなり、通電していても鼻で電線を確認せず突破したと考えられます(写真1,2)。



写真3 イノシシの侵入跡

2. ワイヤーメッシュ柵

- ・ワイヤーメッシュの線径は5mm以上、目合いは10cm以下が望ましいです。
- ・ワイヤーメッシュは、塀や石垣から距離を離して設置します。至近で設置した場合、降りてきたイノシシの“逃げしろ”がなく無理やりワイヤーメッシュを突破し、そこから被害が続く場合があります(写真3)。
- ・地際から侵入されるケースが多いので、**地面とワイヤーメッシュに隙間がないよう**設置します。

●イノシシは跳ぶ! (小豆管内の事例から)

イノシシは写真のような高さ110cmの水路の壁面を助走なしで上り下りします。柵を設置する時、「ここから入るかも」と思う気持ちが大切です。



早めに対策を立てておきたい春の病害虫防除 ～アザミウマ類～



ヒラズハナアザミウマの成虫
【顕微鏡で拡大】



おやっ！ネギになにか白い
カスリが入ってるなあ

農作物を加害する 主なアザミウマの種類

- ネギアザミウマ
- ミナミキイロアザミウマ
- ミカンキイロアザミウマ
- ヒラズハナアザミウマ

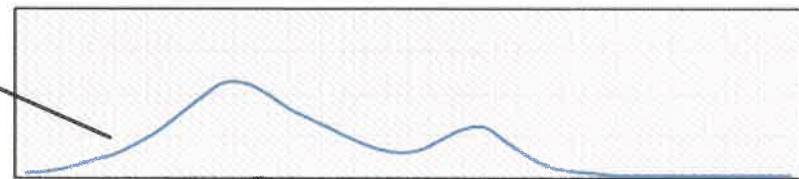
県内では多くの種類のアザミウマが生息しており、これらは特に被害が深刻な種類です。

虫の姿が小さく、幼虫は葉裏や株元の隙間に寄生していることもあるため、気がついたときには手遅れになっていることも!!
また、食害痕で商品価値を落とすだけでなく、えそ病などの原因となるウイルスをうつすこともあります。

アザミウマは、個体群密度が上がる前に農薬を散布することが重要です。



**発生初期の
防除が大切!**



アザミウマ類の月別発生消長 (イメージ)

- ▶ アザミウマはその種類によって、農薬の効果に差があります。
(A種にはよく効いてもB種、C種には効果なし!なんてことも・・・)
見かけたら、農業改良普及センター等に連絡して、種類を調べてもらいましょう。
- ▶ 効果の高い農薬を利用するのは大切なことですが、薬剤抵抗性の発達を避けるために 同じ薬剤の連用は極力避けて、農薬ラベルに記載されているRACコード(右図)を参考に効果の異なる薬剤をローテーションで散布しましょう。
- ▶ アザミウマの発生消長の確認には、粘着トラップの利用が有効です。
あらかじめ、温室等施設の開口部などにバグスキャンを吊るすなどして、アザミウマの発生動向を把握しましょう。バグスキャンの色は黄色・水色のどちらも有効です。



図1 農薬ラベルの記載例

オリーブの女性起業化事例を学ぶ

～女性農業者グループ「sweet小豆島」～



採油方法の説明



オリーブオイルの
テイスティング



草刈り機を確認

女性農業者の経営多角化やグループ活動の充実を支援するため、管内の女性農業者グループ「sweet小豆島」の会員を対象に農業女性応援セミナーを開催しました。セミナーでは、同グループ会員でもある女性起業家のオリーブ園地を訪れ、起業までの道のりを聞いたほか、オリーブ採油作業の注意点、オリーブオイルの評価基準などの専門的知識を学びました。その後のワークショップでは、実際に園主が採油した2種類のオリーブオイルをテイスティングし、香りと味わいの両面から比較したほか、ほ場では新型草刈り機の操作性を確認しました。会場は和んだ雰囲気にもまれ、オリーブの美味しい食べ方や、効率的な農場管理のアイデアなど多岐にわたる情報交換ができたようです。



令和6年産小豆地域水稲食味コンクール表彰

1月23日に開催した「令和6年度小豆地域良質米生産推進研修会」において、「令和6年産小豆地域水稲食味コンクール」の表彰を行い、食味上位者に対し、小豆農業改良普及協議会長、小豆農業改良普及センター所長及びJA東讃営農センター長より、賞状が授与されました。

受賞者からは、講習会や栽培しおりを参考に基本技術の励行と土づくりに加え、こまめにほ場を観察し雑草や病害虫発生時にはすぐ対応することが重要であるとの発表がありました。

たくさんの出品ありがとうございました。

受賞

受賞区分	受賞者氏名	住所
香川県小豆農業改良普及協議会長賞	出水 利明氏	土庄町
香川県小豆農業改良普及センター所長賞	石井 善政氏	小豆島町
香川県農業協同組合東讃営農センター長賞	三木 朝幸氏	土庄町

早春の花の祭典

フラワーフェスティバルかがわ2025

2月22日(土)～23日(日)に「フラワーフェスティバルかがわ2025」がサンメッセ香川大展示場において開催されます。期間中は花き品評会やさめき花市(即売)など様々な催しが開催され、彩り豊かなお花を楽しむことができます。

「たかまつ食と農のフェスタ2025」も同時開催されますので、ぜひ皆様でお越しください。

